

19日、第15回ウクライナ・EU首脳会議の開催

A. 主な動き

1. 内政

ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追

・20～23日、キエフ市控訴裁判所は、ティモシェンコ前首相に対する控訴審を実施。ティモシェンコ前首相は、健康問題等を理由に法廷への出廷を拒否。

・21日、キエフ市控訴裁判所は、「ウクライナ統一エネルギー・システム」社に関する所得隠蔽及び脱税等の疑いによりティモシェンコ前首相の再逮捕を命令するキエフ市シェフチェンコ地区裁判所による8日付決定を有効とする旨の判決を宣告。

・22日、ティモシェンコ前首相は、同日以降のウクライナの裁判プロセスに参加する意向は一切なく、今後は欧州人権裁判所において真実を追究する旨の声明を発表。同日、ヴラセンコ同前首相弁護グループ代表は、同日以降の法廷には出廷しない旨発言。

・23日、キエフ市控訴裁判所は、対露ガス契約における権限逸脱等の疑いによるティモシェンコ前首相に対するキエフ市ペテルスク地区裁判所による10月11日付の有罪判決を有効とする旨の判決を宣告、控訴審判決の全文を29日16時に公表する旨発表。

大統領の動き

・21日、ヤヌコーヴィチ大統領は、2011年下半年総括記者会見を実施、報道関係者による各種質問に回答。同大統領は、ティモシェンコ前首相裁判に関し、ウクライナの法制度に則った同前首相の釈放に反対ではない旨発言。

野党の動き

・22日、ヤツェニューク「変化の前線」党首(NUNS議員)は、同党がキリレンコ党首(NUNS議員)率いる「ザ・ウクライナ」党との協力協定に署名した旨発表。

・23日、BYT所属のウクライナ社会民主党は、同日行われた党大会においてコロレフスカBYT議員を同党党首に選出。

・23日、リトヴィン最高会議議長は、BYT議員1名の脱退を発表。BYT議員は計102名に減少。

その他

・19日、検事総局は、ゴンガゼ記者殺害事件への関与の疑いによるクチャマ元大統領に対する刑事訴追開始に関する検事総局決定を無効とする旨のキエフ市ペテルスク地区裁判所の14日付決定に対する異議申し立てを提出。

・19日、アフメトフ地域党議員は、2012年10月の最高会議選挙には出馬しない意向を表明。

・23日、最高裁判所は、9月29日をもって任期を満了したオノペンコ前最高裁判所長官の後任としてピリプチュク前裁判官評議会議長を選出。

2. 経済

マクロ経済

・22日、世銀は、国際市場における不安定な状況と外国からの融資が増えるとの見込みに基づき、2012年のウクライナのGDP成長率予測を5.0%から2.5%に下方修正。本2011年のGDP成長率予測は従前の4.5%で修正無し。

2012年国家予算

・21日、閣僚会議は、GDP成長率3.9%を基にしたウクライナの2012年国家予算案を承認。同案によれば、国家予算の歳入は3,316億グリブナ(約3.3兆円)でGDPの22%、赤字額はGDPの2.5%になるとの予測。同案は現在のロシアとのガス価格交渉に基づいており、現在のガス価格の平均は千平方メートル当たり416ドルであるが、本件は最高会議で更に検討される予定。

基盤整備

・20日、コレースニコフ副首相兼インフラ相は、韓国においてヒュンダイの最初の高速列車贈呈式に参加。提供される6組の車両のうち、最初の2組は2012年1月末、残りの4組は5月上旬に搬送される予定。この6組の列車は2012年欧州サッカー選手権を開催する4都市間で使用される予定。首都キエフからは、ハルキウまで3.5時間、リヴィウまで4.5時間、ドネツクまで5.5時間で運行可能予定。

・20日、カシキフ国家投資庁長官は、ボリスピリ国際空港からキエフに乗り入れる列車の建設が28日に開始される旨発言。同建設は、中国輸出入銀行より3億7,200万米ドルの融資に基づき、中国のCMCECコーポレーションが建設工事を開始。

・22日、コレースニコフ副首相兼インフラ相は、ボリスピリ国際空港ターミナルDの試験運行の準備が完了した旨発表。同ターミナルでは、2012年1月にミュンヘン空港のORAT(Operational Readiness and Airport Transfer)チームの専門家が運行開始を確保するために一連の試験を実施予定。

農業

・20日、最高会議は、土地法典の関連規定を修正し、農地売買モラトリアム(一時停止)を2013年1月1日まで延長することを決定。

・20日、農業政策・食料省は、今穀物市場年における12月

19日時点での穀物輸出量は810万トン(小麦230万トン、トウモロコシ380万トン等)と発表、11月にトウモロコシは170万トン輸出され、同月で最も多い輸出穀物であった旨説明。

ガス問題

・20日、アザーロフ首相、ボイコ・エネルギー石炭産業相、ラヴリノヴィチ法務相は、モスクワを訪問、プーチン・ロシア首相と会談、ガス価格削減問題解決及びウクライナ・ロシア間の投資環境整備に関し協議。アザーロフ首相は、この会談によりエネルギー分野の最終的解決策を見出す契機となるであろうと期待を表明。21日もボイコ、ラヴリノヴィチ両大臣はモスクワに残り協議を継続。

・21日、アザーロフ首相は、閣議において20日のプーチン露首相との会談につき、ウクライナの経済発展に影響を及ぼすガス価格問題は、現時点ではロシアにのみ有利な契約であり、採掘量、価格、ガス輸送システムに関するコンソシアム等解決すべき課題は多いが、ロシアとの妥協点を探る必要性を強調。

・21日、ヤヌコーヴィチ大統領は、2011年下半年総括記者会見において、ガス価格交渉につき、ウクライナは未だ欧州より高いガスをロシアから購入しており不本意であるとし、昨年のハルキウ合意で提示された額から100ドルの減額をロシアに求める旨発言。

・23日、ボイコ・エネルギー石炭産業相は、サンクトペテルブルグにおいてミレル露ガスプロム社長とガス価格削減につき交渉。両者は、来年1月15日に開催される次回交渉に向け建設的な対話ができたと評価。

その他

・20日、ウクライナ政府は、HIV抑制を目的としたエイズ・結核・マラリアと闘うための国際基金と財政支援に関する協定に署名。ウクライナに授与される額は3億170万ドル。

・22日、最高会議は、CIS諸国間の知的財産保護に関する協力協定を批准。同協定では、加盟国間の協力強化、共同調査の実施、情報交換、加盟国が参加する理事会の設置等を規定。

3 . 外政

第15回ウクライナ・EU首脳会議

・19日、第15回ウクライナ・EU首脳会議がキエフにて開催。

ウクライナ側からヤヌコーヴィチ大統領、EU側からファン＝ロンパイ欧州理事会議長、バローゾ欧州委員会委員長が代表として出席。ウクライナ・EU連合協定の仮署名は見送られたが、ヤヌコーヴィチ大統領は、今回の交渉により将来の協定締結に向け確実に前進したと評価。これに対し、EUは、同日採択された共同声明の中でウクライナの一層の民主化・司法改革等を要求。

アザーロフ首相のチェコ訪問

・19日、アザーロフ首相は、チェコを訪問、クラウス大統領、ネチャス首相等と会談、科学技術・文化分野における両国政府間協力協定の改定議定書及び両国間の二重課税防止条約に署名、同日実施されたウクライナ・チェコ・ビジネスフォーラムの開会式に出席。

ヤヌコーヴィチ大統領の第20回CIS首脳会議出席

・20日、ヤヌコーヴィチ大統領は、モスクワにおける第20回CIS首脳会議に出席、ウクライナはCIS枠内の自由貿易圏創設を評価、FTAの加盟国同時批准に向けた交渉開始を提案。メドベージェフ露大統領との会談ではガス問題の早期解決の必要性に関し協議、一時的解決にとどまらず、中期的見通しを与えることが重要との認識で一致。

ヤヌコーヴィチ大統領のトルコ訪問

・22日、ヤヌコーヴィチ大統領は、トルコを訪問、ギュル大統領、エルドアン首相と会談。両国は政治対話を引き続き行うことを確認、貿易・経済、エネルギー、科学・技術、運輸、文化分野での協力関係強化の必要性に関し協議、共同声明に署名。両国担当大臣は、航空・査証免除(2012年5月よりウクライナ人の30日以内のトルコ滞在につき、査証が免除となる)・植物検疫・漁業分野における二国間協定に署名。

4 . 防衛

・22日、外務省は、ウクライナ人乗務員11人が搭乗した「Thor Liberty」号が不法武器輸送の疑いによりフィンランド当局によって拿捕された旨発表。

(了)